



ラサ工業株式会社

2019年3月期 決算説明資料

2019年5月15日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2019年3月期実績及び2020年3月期見通し



1. 事業概要

事業概要

会社概要

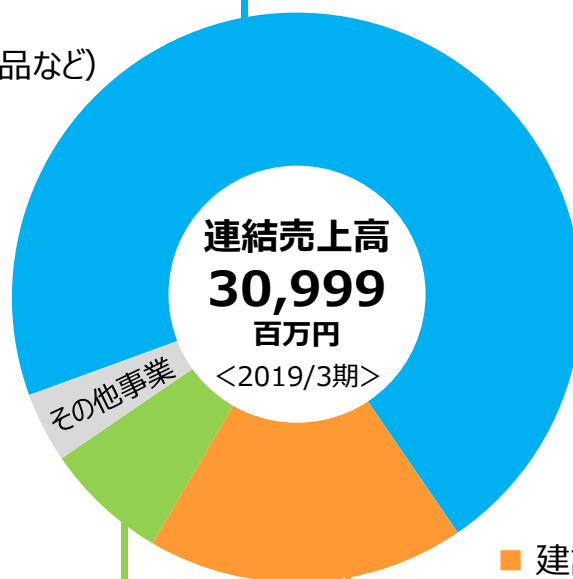
商号	ラサ工業株式会社	
本社	東京都中央区京橋一丁目1番1号	
創業	1913（大正2）年 5月 1日	
設立	1918（大正7）年 6月 26日	
従業員数	567名（連結）	<2019年3月31日現在>

化成品事業 22,127百万円／71.4%

- リン系製品
 - リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
 - リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

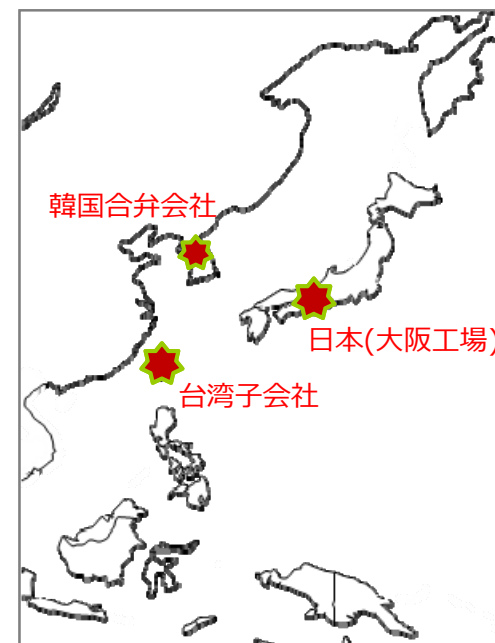
- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、高純度赤リン、高純度酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 2,234百万円／7.2%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 5,441百万円／17.6%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>



2. 2019年3月期実績及び2020年3月期見通し

2019年3月期 決算概要

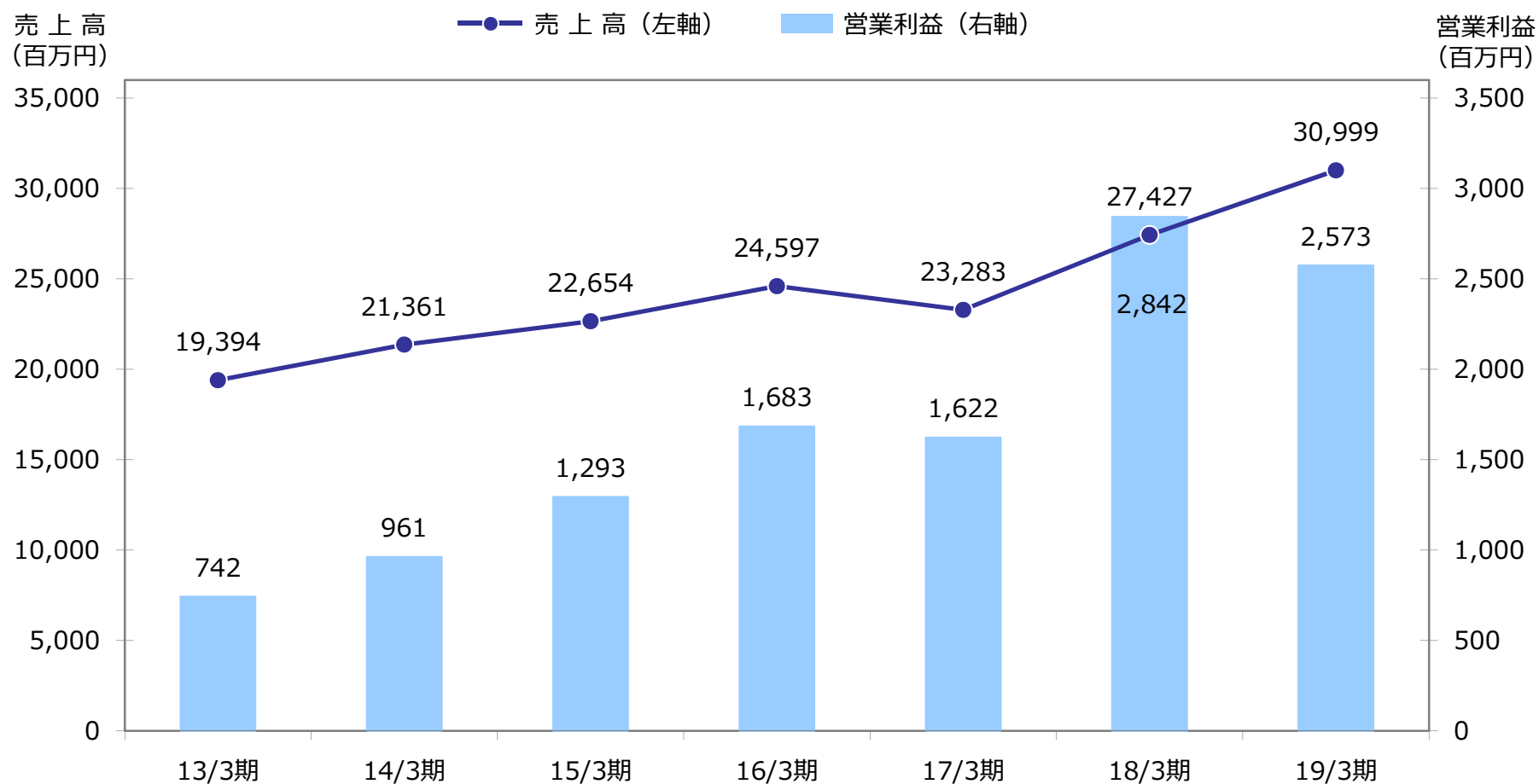
- 売上高は、化成品事業で半導体向け販売拡大、増産効果の寄与もあり増収。
- 営業利益は、償却費等の影響で減益。
親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額により微増益。

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	前年同期比	期初計画	増減
売上高	27,427	30,999	3,572	13.0%	32,000	△ 1,001
営業利益	2,842	2,573	△ 269	△ 9.4%	2,800	△ 227
経常利益	2,718	2,618	△ 100	△ 3.7%	2,800	△ 182
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,274	23	1.0%	2,300	△ 26
1株配当金	40.00円	40.00円	—	—	40.00円	—
(減価償却費)	1,024	1,322	298	29.1%		

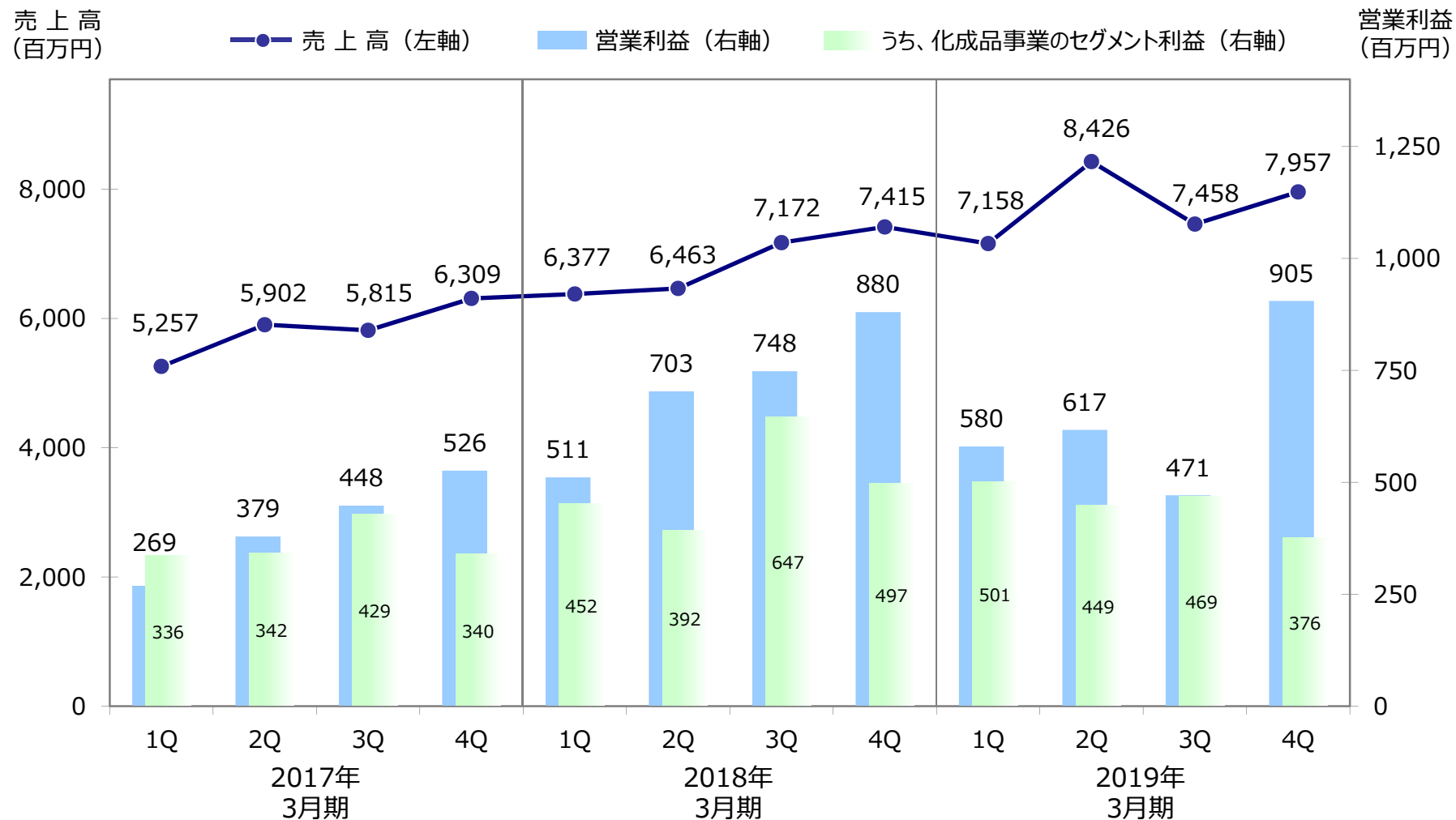
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移

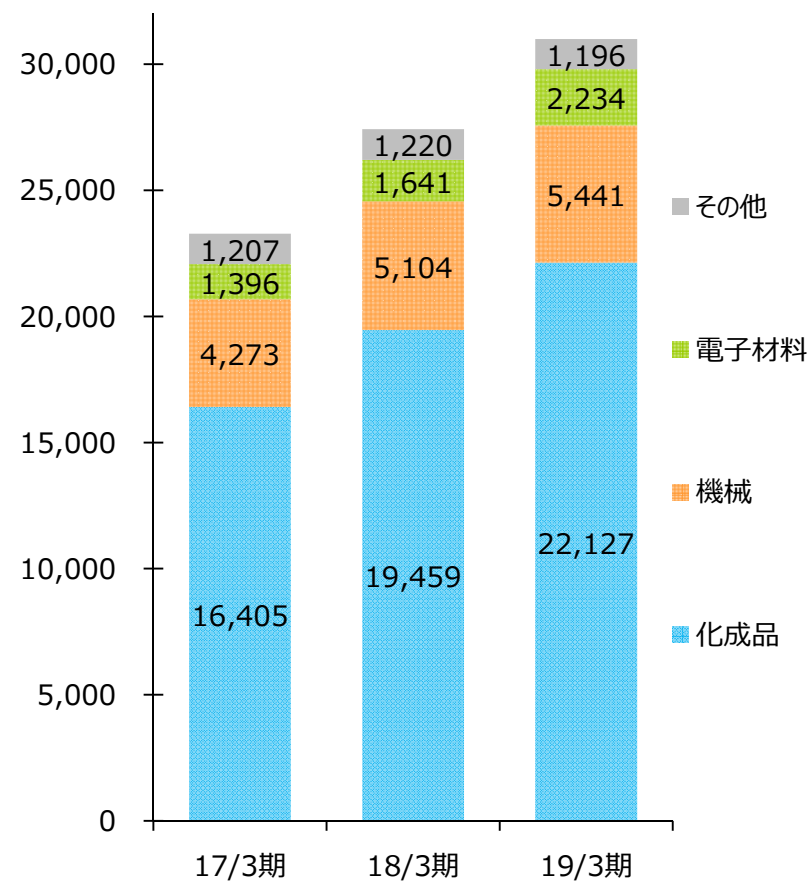


2019年3月期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

(単位：百万円) (百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	前年 同期比
化成品	19,459	22,127	2,668	13.7%
機械	5,104	5,441	337	6.6%
電子材料	1,641	2,234	593	36.1%
その他	1,220	1,196	△ 24	△ 2.0%
合計	27,427	30,999	3,572	13.0%



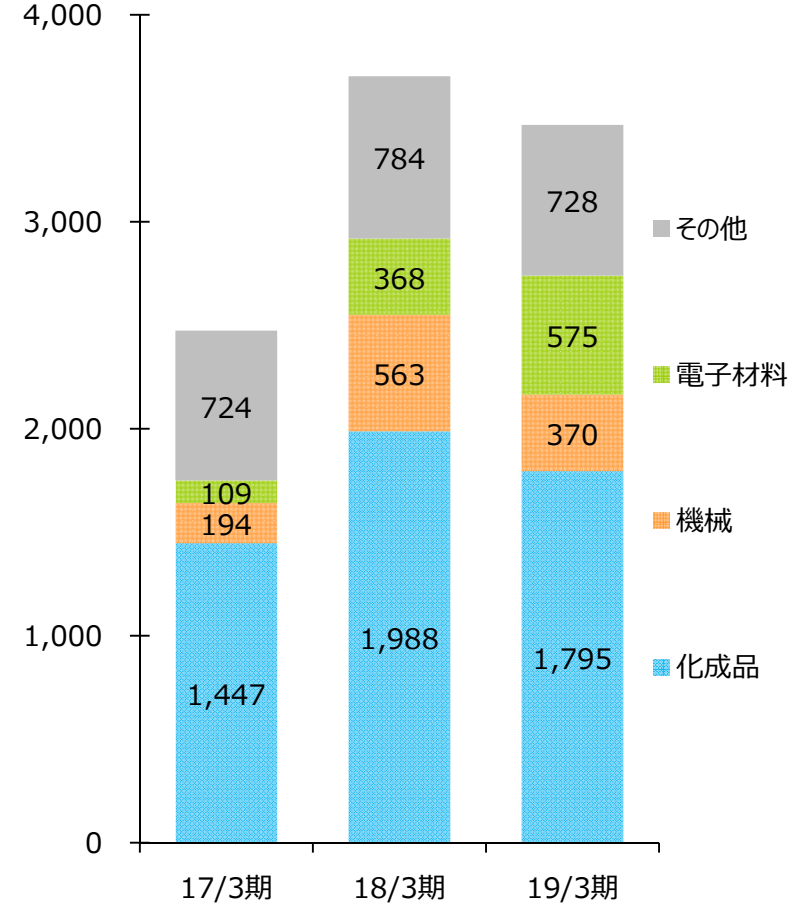
2019年3月期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期	増減	前年 同期比
化 成 品	1,988	1,795	△ 193	△ 9.7%
機 械	563	370	△ 193	△ 34.1%
電 子 材 料	368	575	207	56.1%
そ の 他	784	728	△ 56	△ 7.1%
(調整額)	△ 862	△ 897	△ 35	-
合 計	2,842	2,573	△ 269	△ 9.4%

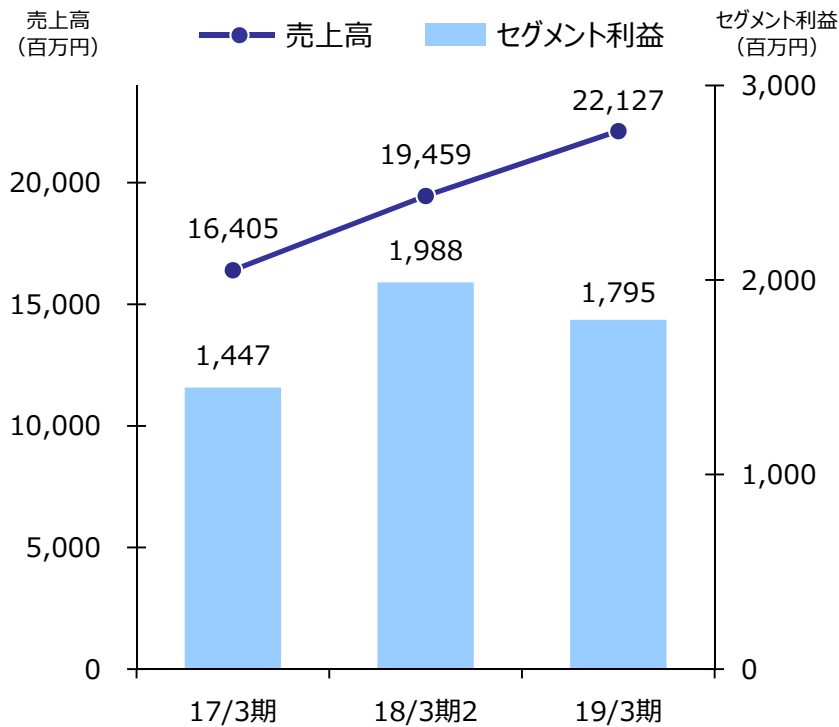
(百万円)



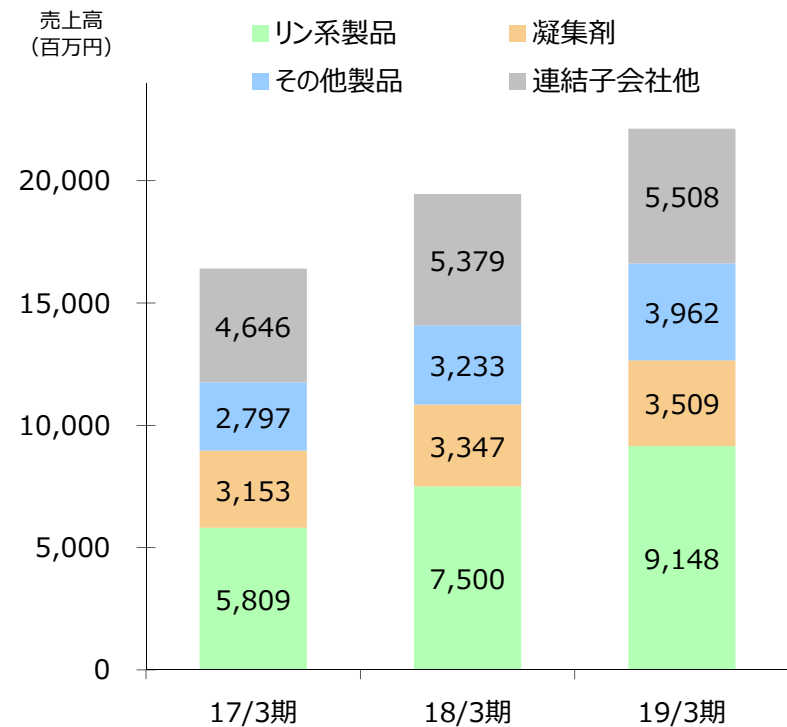
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が拡大、増産効果も寄与。償却費等のコスト増。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、客先需要の拡大で大幅な増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

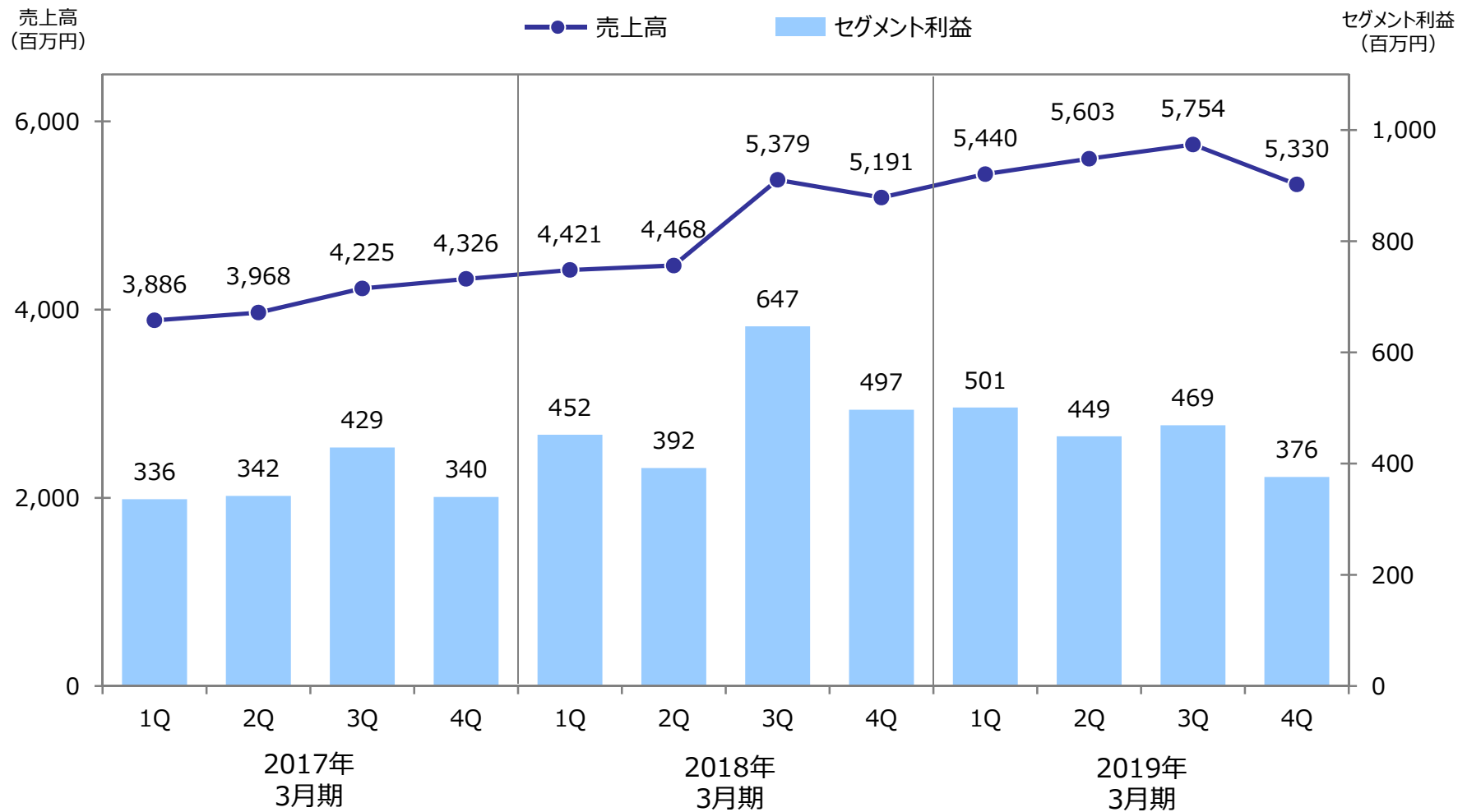


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

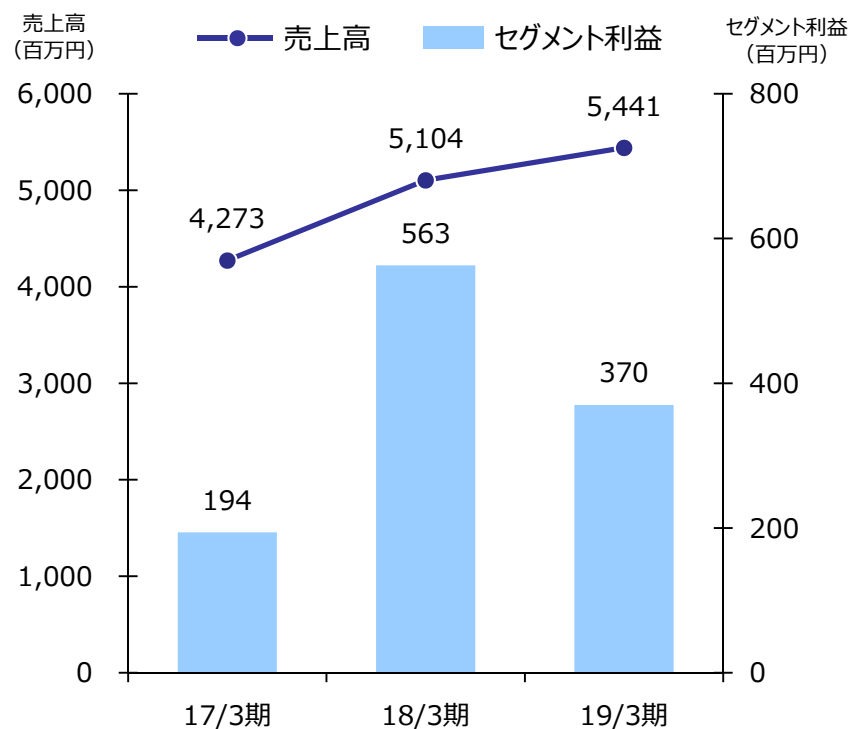
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



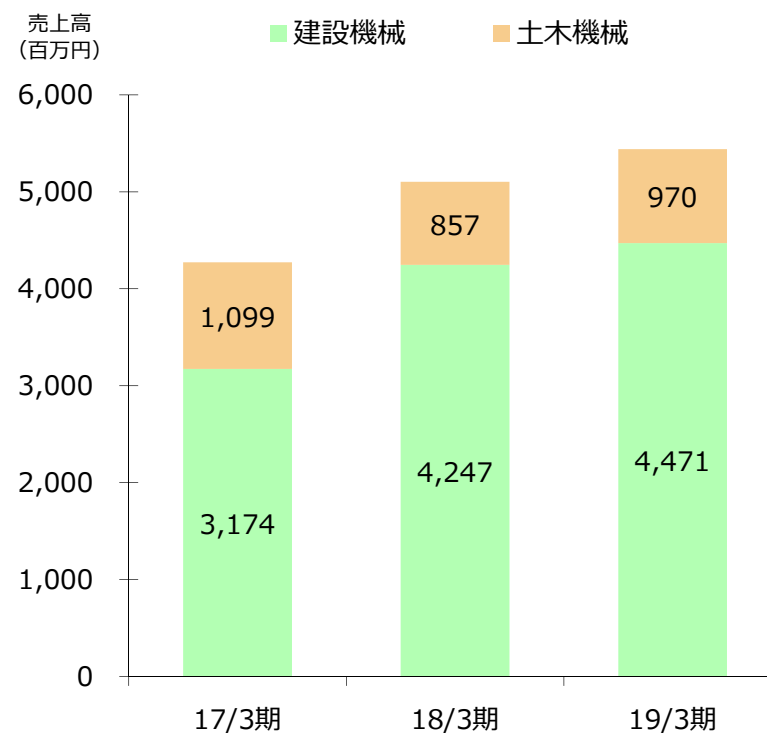
機械事業

- 建設機械は、除染関連プラント販売により増収も、損益面は低調。
- 土木機械は、掘進機の本体販売において、アジア向け輸出が寄与。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

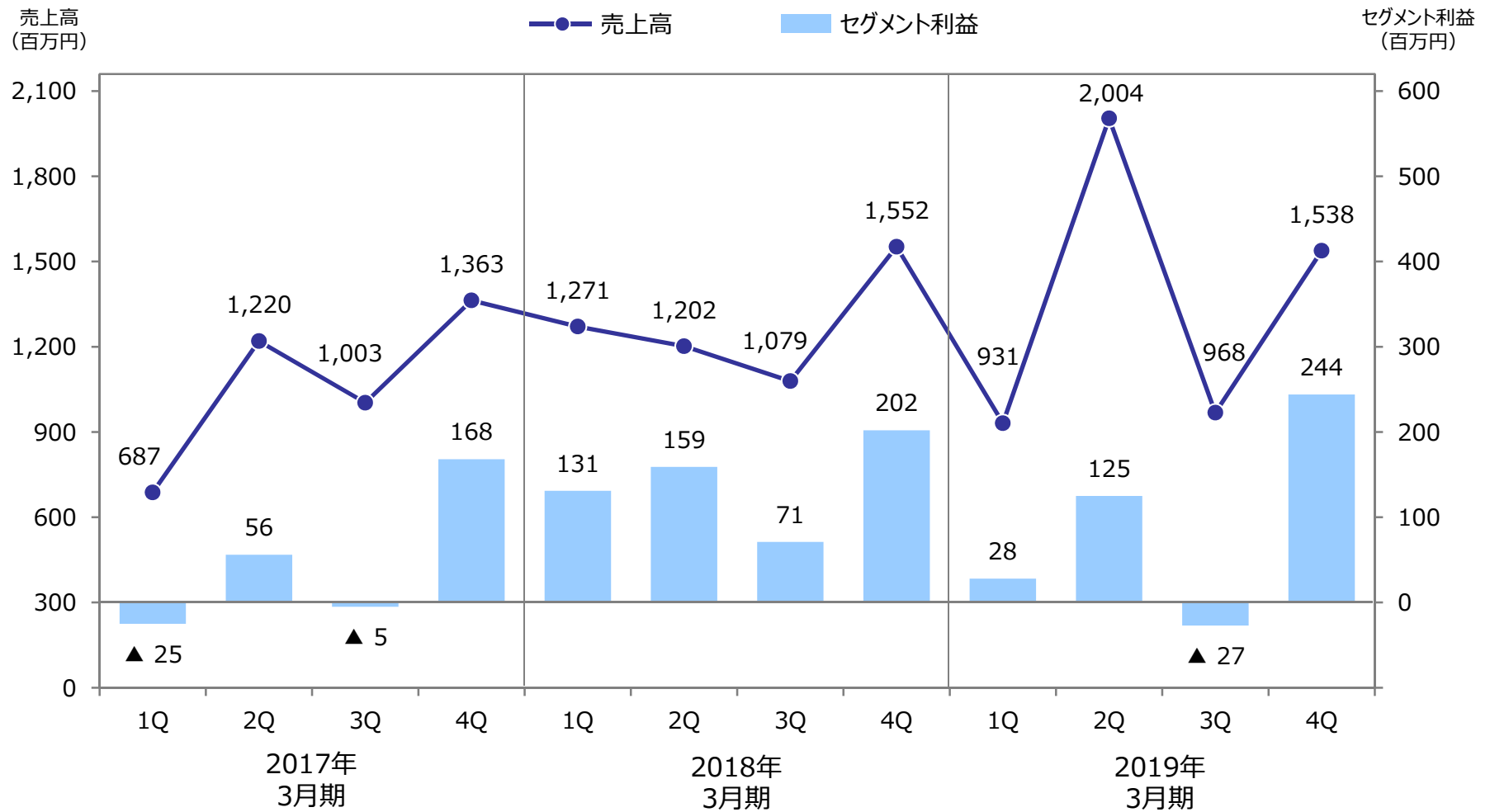


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

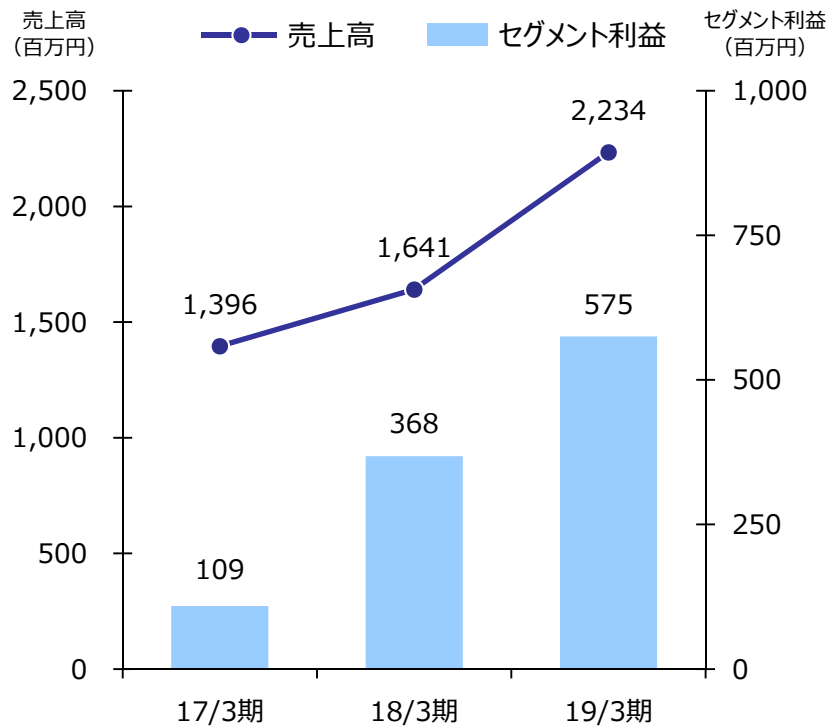
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



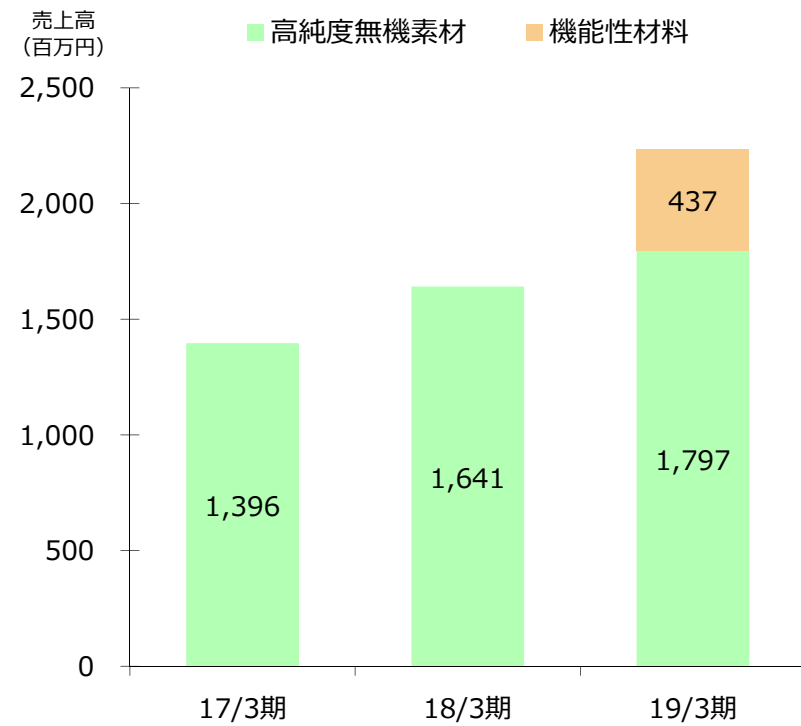
電子材料事業

- ガリウム、インジウムの、販売価格の回復と、需要の増加により増収増益。
- 原子力発電所向けの放射性ヨウ素吸着剤が、3期ぶりの販売。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

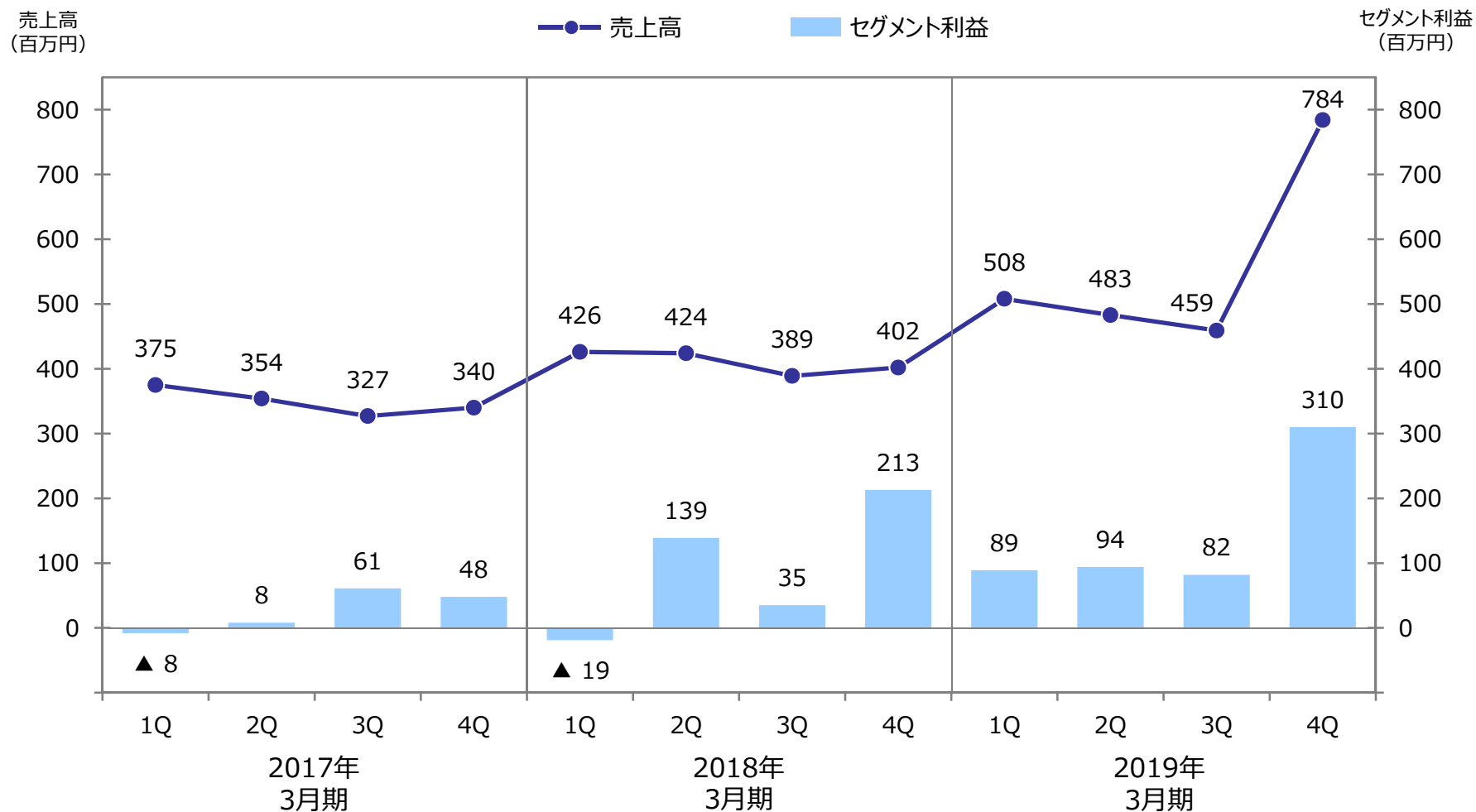


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2018/3期	2019/3期	増減	前年同期比
売上高	27,427	30,999	3,572	13.0%
売上原価	20,395	24,100	3,705	18.2%
販売費・一般管理費	4,189	4,325	136	3.2%
営業利益	2,842	2,573	△ 269	△ 9.4%
営業外収益	285	458	173	－
営業外費用	409	413	4	－
経常利益	2,718	2,618	△ 100	△ 3.7%
特別利益	9	16	7	－
特別損失	－	13	13	－
税金等調整前当期純利益	2,727	2,620	△ 107	△ 3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,274	23	1.0%
（減価償却費）	1,024	1,322	298	29.1%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2018/3月末	2019/3月末	増減
流動資産 計	17,559	18,019	460
現金及び預金	5,188	5,333	145
受取手形及び売掛金	8,248	8,625	377
たな卸資産 ※	3,591	3,752	161
固定資産 計	18,720	20,599	1,879
有形固定資産	14,583	17,176	2,593
無形固定資産	947	36	△ 911
投資その他の資産	3,189	3,387	198
流動負債 計	12,992	13,649	657
支払手形及び買掛金	4,240	4,121	△ 119
短期借入金	5,410	6,542	1,132
固定負債 計	10,281	10,222	△ 59
長期借入金	6,813	6,850	37
退職給付に係る負債	2,936	3,048	112
純資産	13,007	14,746	1,739
自己資本	12,962	14,700	1,738
非支配株主持分	44	45	1
総資産	36,280	38,619	2,339
<自己資本比率>	35.7%	38.1%	

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2018/3期	2019/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,538	2,769	231
税金等調整前当期純利益	2,727	2,620	△ 107
減価償却費	1,024	1,322	298
売上債権の増減額（△は増加）	△ 1,178	△ 415	763
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 212	△ 198	14
仕入債務の増減額（△は減少）	813	△ 111	△ 924
法人税等の支払額	△ 219	△ 509	△ 290
投資キャッシュ・フロー	△ 2,120	△ 3,522	△ 1,402
有形固定資産の取得による支出	△ 2,140	△ 3,561	△ 1,421
財務キャッシュ・フロー	1,074	961	△ 113
借入金の純増減額	1,250	1,293	43
現金及び現金同等物 期中増減額	1,529	145	△ 1,384
現金及び現金同等物 期末残高	5,188	5,333	145

2020年3月期の業績予想

- 化成品事業は、半導体・電子部品市況の悪化の影響、各メーカーの在庫調整、期前半は、足元の状況が続くと見込む。
- 電子材料事業は、放射性ヨウ素吸着剤の販売は見込まず。

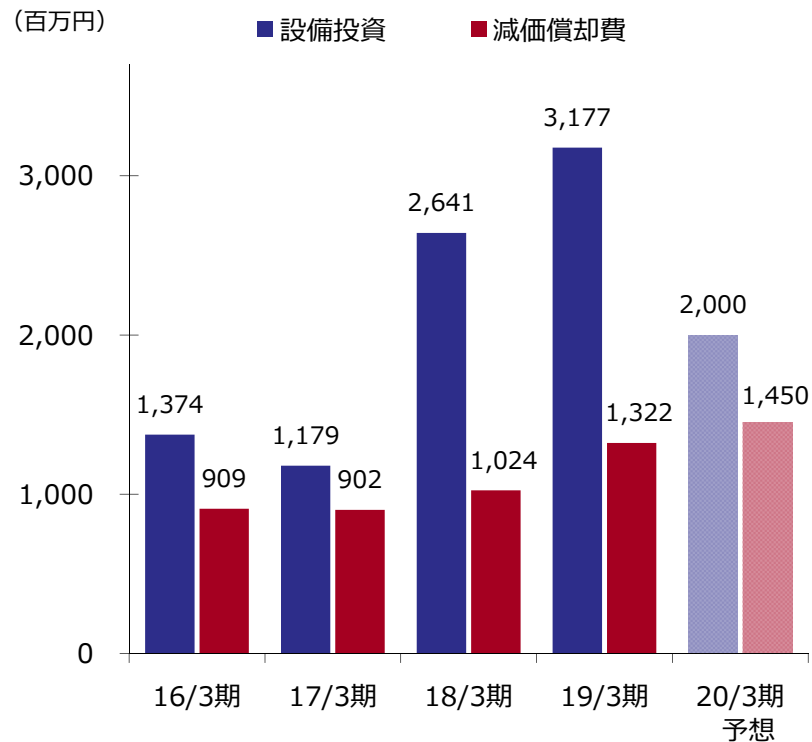
(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期予想	増減	前年同期比
売上高	30,999	31,000	1	0%
化成品事業	22,127	22,300	173	1%
機械事業	5,441	5,700	259	5%
電子材料事業	2,234	1,800	△ 434	△ 19%
その他の事業	1,196	1,200	4	0%
営業利益	2,573	2,000	△ 573	△ 22%
化成品事業	1,795	1,650	△ 145	△ 8%
機械事業	370	450	80	22%
電子材料事業	575	200	△ 375	△ 65%
その他の事業	728	700	△ 28	△ 4%
全社費用など	△ 897	△ 1,000	△ 103	—
経常利益	2,618	2,000	△ 618	△ 24%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,274	1,500	△ 774	△ 34%
1株配当金	40.00円	40.00円	—	—

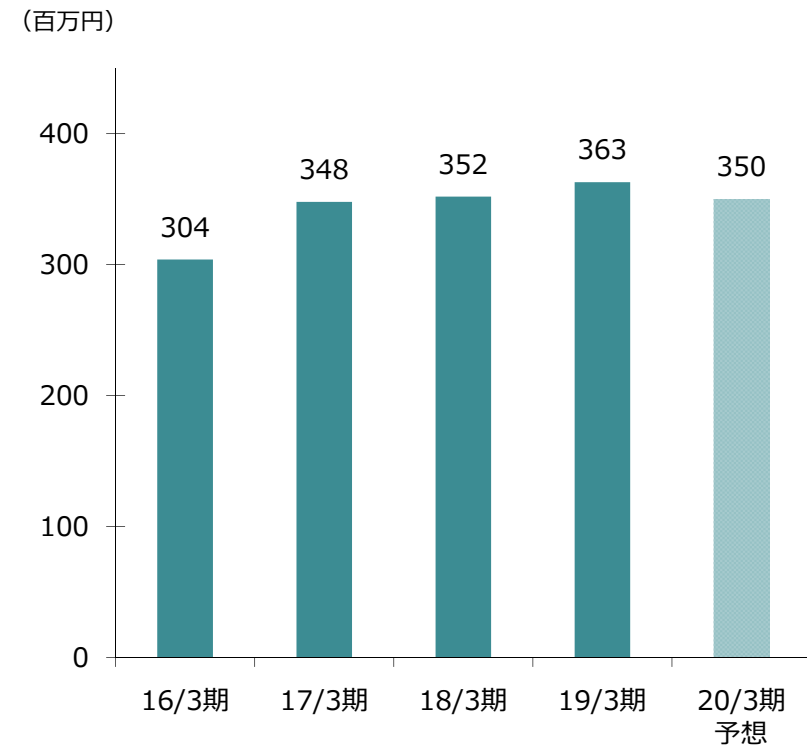
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、主に化成品事業において、半導体向け高純度リン酸設備の更新と増強を実施。
- 2020年3月期は、主に化成品事業で、コンデンサー向け原料の増強およびその他設備更新をすすめる。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892